

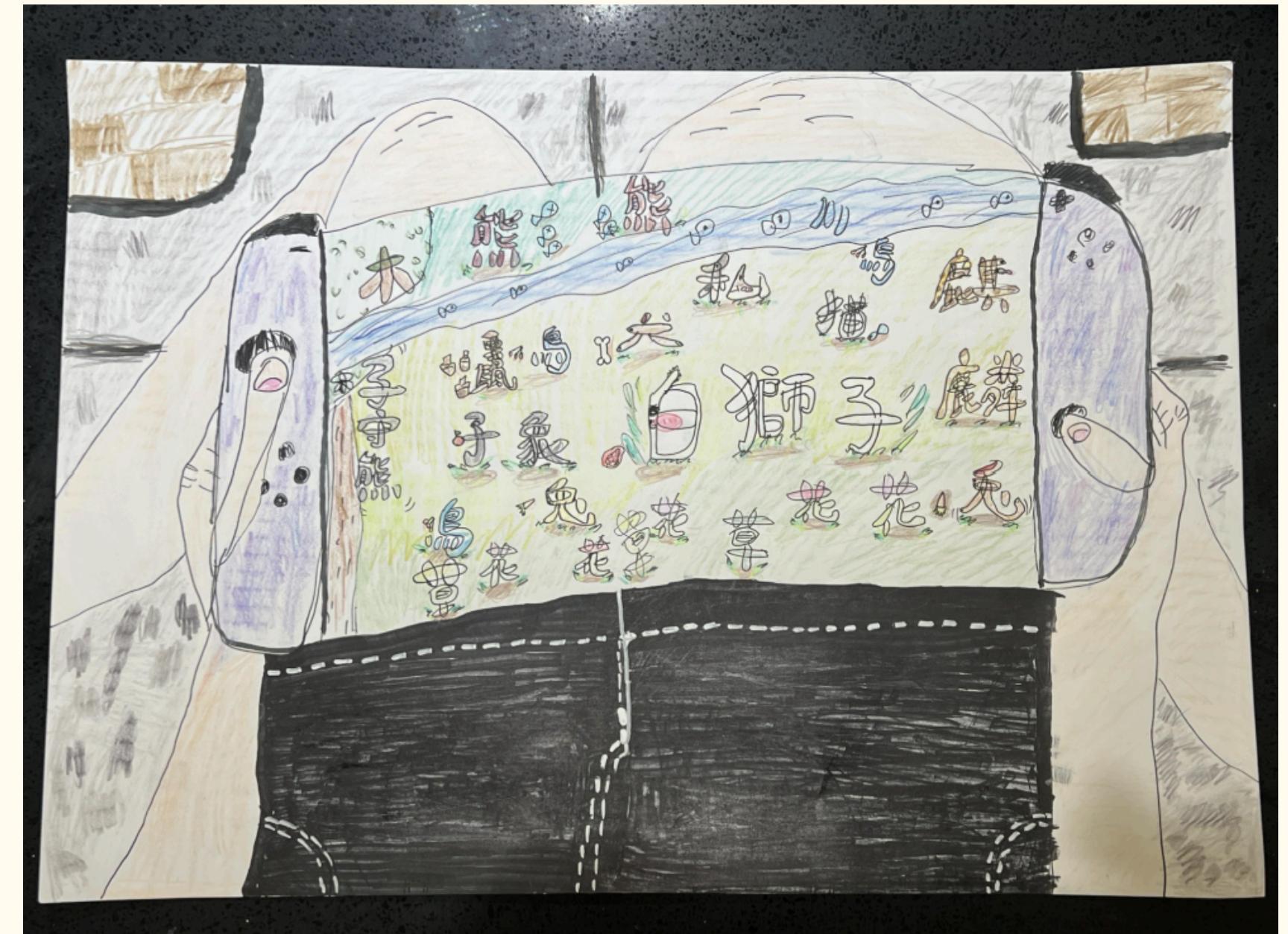
支援者の皆さまへのご報告

活動報告2025 & 活動計画2026

認定NPO法人工ッジ



EDGE
Extraordinary Dyslexic Gifted Eclectic



【わたしのねえむ】みい
(第3回ディスレクシア・アートコンペティション最優秀賞)

メッセージ



NPO法人エッジ 会長
藤堂 栄子

いつもNPO法人エッジへのご支援をいただき、本当にありがとうございます。啓発や政策提言の取り組み、安心して相談できる場づくりなど、多くの活動が皆さまのお力によって続けられています。これからも、一人ひとりが自分らしく学び、暮らしていく社会をめざして、歩みを進めてまいります。今後ともあたたかい応援をいただけましたら幸いです。

参加者の声

支援者の皆さまからのご寄付をもとに、2025年度もさまざまな活動に取り組むことができました。エッジに届いた声を紹介します。

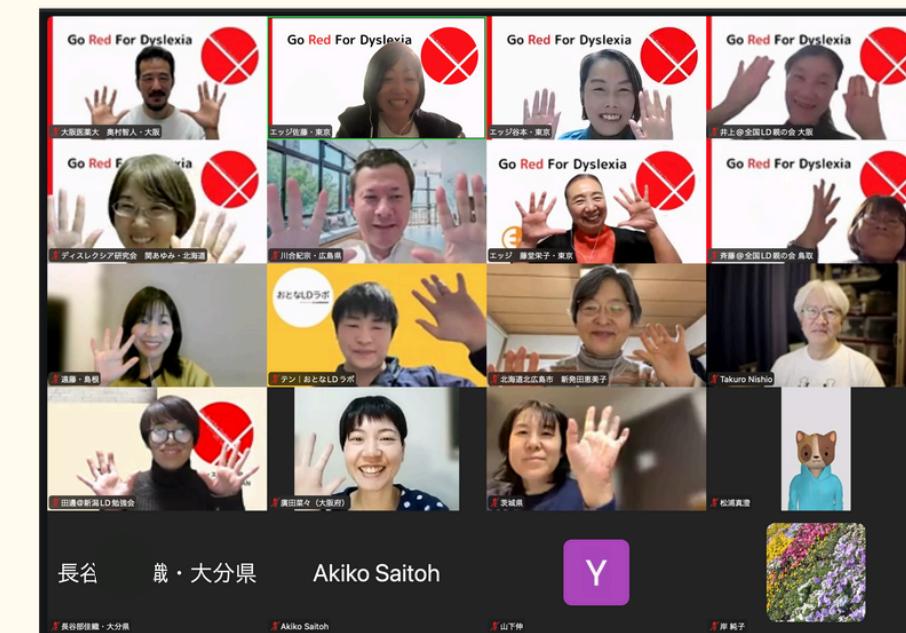
アートコンペティション

- りっぱな表彰状がもらえて、うれしかった。
- 緊張したけれども、オンラインだったから参加できた。自信がついた。
- また来年も参加したい。



ディスレクシア月間

見えにくい困難を抱えた人とそこに関わる人々に力を与えてくれる活動だと思い感謝しています。私も学び続けます。



DX会

(成人ディスレクシアの会)

ディスレクシアの人々がいつでも、気楽に集い、参加できる癒やしの場。20年も続くのは驚異的な存在。



2025年度のエッジの活動

ディスレクシアのすべての人が活き活きと暮らせる社会を目指して、取り組んできた活動をご紹介します。

政策提言

- ・会長藤堂栄子が読書バリアフリー関係者協議会などの委員を務め、読書バリアフリーを推進
- ・「読書バリアフリー法」に基づく第2期基本計画（2025年4月施行）に、初めて「ディスレクシア」という文言が登場
- ・「発達障害の支援を考える議員連盟（会長 野田聖子）」総会に参加

啓発

- ・ディスレクシア月間（10月）LD・ディスレクシア・発達支援6団体共催の啓発月間過去最高の427名参加
- ・講演会実施（24回）
- ・大阪万博パネリスト登壇
- ・メールマガジン（毎月）、ニュースレタ－（年3回）、SNS等による継続的な啓発・広報活動を実施

2025年度のエッジの活動

当事者ネットワーク

ディスレクシアのこども向け

- ・5月、8月にイベント開催
- ・オンラインイベント「メタ・エッジ」を月1回開催

ディスレクシアのおとな向け

- ・NODE：定例会（2ヵ月に1回）、こども向けイベントに協力
- ・DX会：イベントやオンライン和みの会を定期開催

第3回 ディスレクシア・アートコンペティション

ディスレクシアのこどもむけアートコンペティションを主催
夏休み期間にアート作品を募集し、表彰式を10月4日開催
英國のベストセラー画家：マッケンジー・ソープ氏来場、特別賞として「ソープ賞」発表

2025年度のエッジの活動

相談・アセスメント事業

読み書きの困りごとの相談・支援

- ・個別相談・アセスメント：約120件実施
- ・ディスレクシア月間で無料相談会実施
- ・助成金を活用した集団アセスメント実施
- ・「読み書き支援のハンドブック」制作

人材育成事業

子どものミカタになるおとなを増やす

- ・新講座「発達障害のこどもを理解する講座」開講
- ・新講座「【英語の】読み書き困難指導・支援講座」開講
- ・フォローアップ講座の実施により、継続的な学びを支援

2025年度のエッジの活動

音声化事業

- ・音声教材BEAMを提供
(文部科学省委託事業)
対象：小学校・中学校・高校教科書
- ・光文書院 小学校国語テストの問題読み上げ
サービスの音声を提供
- ・音声テスト体験会開催
- ・LD学会で自主シンポジウム発表

クラウドファンディング

- ・初挑戦し達成
- ・資金をもとに、第3回ディスレクシア・アートコンペティション開催、
新Youtubeチャンネル立ち上げ、
エンパワメントセンター構想を公開、
「学びのビュッフェ見本市」開催準備中

2025年度のエッジの活動



アートコンペティション表彰式



LD学会ディスレクシア月間実行委員会ブース



大阪万博パネリスト登壇



生成AIワークショップ

2026年度 活動計画

ディスレクシア支援のさらなる拡充と、より多くの人々が学びの機会を享受できる社会の実現を目指します。2026年度の活動資金を募っています。ご協力お願いいたします。

- 政策提言：読み書きアセスメント推進
- 啓発：講演会、ディスレクシア月間、広報活動に積極的に取り組み、ディスレクシアの普及啓発を推し進める
- 相談・アセスメント：必要とする人につながるべく宣伝活動を実施。新たな助成金獲得により集団アセスメントを継続
- 人材育成：社会動向・受講者ニーズにあった講座の提供。修了生コミュニティの発足
- ネットワーク：第4回ディスレクシア・アートコンペティション開催。夏休み期間中のワークショップ開催
- 寄付：第2回クラウドファンディング実施と資金をもとにした支援の充実

(参考) エッジの収支

2024年度 活動計算書 (単位 : 万円)

I 経常収益	
1. 受取寄付金	440
2. 受取助成金等	632
3. 事業収益	2,542
4. その他収益	23
経常収益計	3,637

受取寄付金は、収入を得にくい活動（政策提言、啓発、当事者ネットワーク活動）に主に活用しています。

II 経常費用	
1. 事業費	2,584
2. 管理費	865
経常費用計	3,449

事業収入は、文部科学省委託事業、音声化事業、人材育成事業、相談・アセスメント事業によるものです。

III 経常外収入	0
IV 経常外費用	0

経常費用の57%は、次ページ以降で報告する事業・活動、管理のための人件費です。
その他、外部講師等への謝金、パンフレット等の印刷製本費、ニュースレターの発行・送付費、広報費用などに充てています。

当期正味財産増加額	188
-----------	-----

※2025年度決算・2026年度予算は、今後HP等でお知らせします。

運営スタッフ



ディスレクシア当事者、ディスレクシアの子の保護者、教員、言語聴覚士などが
スタッフとしてエッジの運営に携わっています。
兼業のスタッフが多く、リモートワーク中心に業務を行っています。

運営スタッフ



遠藤

主にこども達のネットワークづくり&イベントを担当しています。
高校生の息子がディスレクシア。
島根県在住。



岸

アセスメント事業担当です。
すべての子ども達が自分に
合った学び方を選べる未来を
目指しています。



柴田

事務局・DX会担当。
たかが20年、されど20年。
ディスレクシア当事者が生き
続けることが最大の啓発
活動につながって行く。



清水

寄付・クラウドファンデ
ィング担当です。
小学生の息子がディスレ
クシアです。

皆さまのご支援がディスレクシアのひとたちの未来をつくりります

わたしたちの活動はご支援くださる皆さまのご寄付によって支えられています。エッジは東京都の認定を受けた認定NPO法人です。ご支援くださる皆さまは、所得税、法人税、相続税などの税制上の優遇措置を受けることができます。

● 都度の寄付 ●

お好きな金額をご都合にあわせて寄付できます。

[ご寄付は
こちらから](#) ▶



● 毎月の寄付 ●

ご指定の金額を毎月自動的に寄付する継続寄付です。

[ご寄付は
こちらから](#) ▶



● ふるさと納税による寄付 ●

東京都港区のふるさと納税「団体応援寄付金」を通じ、納税額の7割がエッジへの支援になります。
「ふるさとチョイス」から寄付できます。



◀ [詳しい手順](#)

[ご寄付は
こちらから](#) ▶



ディスレクシアでも大丈夫！ ディスレクシアだから大丈夫！

ディスレクシアのすべての人が活き活きと暮らせる社会を目指して活動しています。



エッジは2025年に
設立25周年を迎えました

認定NPO法人工エッジ

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル4階

<https://npo-edge.jp/>

2001年 特定非営利活動法人内閣府認証取得

2017年 東京都より認定特定非営利活動法人（認定NPO 法人）取得

スタッフ 合計20名（2025年12月現在）